



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

92.12.3 No. 3701

## 新たな反戦闘争の確かな一歩しるした 11.22全国総決起集会!

動労千葉一翼担いきり60名が決起!



決意表明に起つ 田中書記長

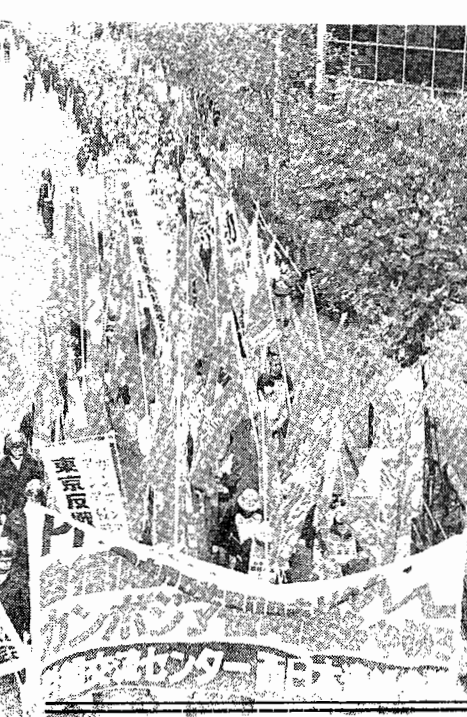
「自衛隊の危険な現状、侵略・腐敗の宮沢政権打倒の第一、二二全国総決起集会は、東京日比谷野音に闘う労働者・市民・学生三二〇人が結集し、密集する政治反動粉砕へ向けた決意の程を、首都東京を揺るがす圧倒的デモを貫徹することを通して示し抜いた。」

集会は、冒頭主催者代表あいさつとして、反戦共同行動委・小西誠代表が登壇し、「カンボジアPKOの長期化が周知のものとなっている。これはポル・ポト派に対する経済制裁から武力制裁への推移―内戦鎮圧から占領軍としての事実が明らかとなり、自衛隊員の不満の高まりの中で、内戦の危機の中に崩壊の危機を見出すことができる。この事実は自衛隊の解体か、われわれの解体かの結節点を鋭く突き出している。出兵部隊の危機は改憲や特別立法の制定へと結びつくであろう。その意味でも、今日の闘いを新たな一歩とし、カンボジアPKO部隊の即時撤退を求め、次なる北海道での闘いを小牧を上まわるものとしなければならない。恒常的な反戦闘争を定着させ、自衛隊員を獲得していく闘いを実現しよう! 反戦共同行動委が腐敗する自民党を打倒して、新たな情勢を切り拓くのだ」と

PKO撤兵・第2陣派兵阻止を誓う。



(東京を揺るがす圧倒的デモを貫徹)



勝利への展望が示された。三里塚芝山連合空港反対同盟をはじめとした一団体からのあいさつのもと、反戦共同行動委・中野洋代表(動労千葉委員長)が基調提起(要旨別掲)を行ったあと、市民・住民・労働団体の決意表明に入り、動労千葉を代表して田中書記長が、「私たちは大変な歴史の大転換点に立っている。歴史の共犯者となるのか、日帝を打倒するかが問われているのだ。支配階級の危機の中からも何が出てくるのか見据えなければならぬ! 財界は派兵支援で動きだそうとし、「連合」は自民党を中心とした政治体制維持の新たな軸となるなど、労働運動そのものが否定されようとしている。派兵時代の労働運動を築くことが労働者階級の使命であり、断固として闘い抜く」と力強い決意を全体に訴えた。

「一・二二集会は、新たな反戦闘争の大高揚と勝利の展望を全人民に示す確かな一歩をする。さらに闘いをおし進めよう!」

反戦共同行動委・中野代表基調要旨  
戦後四五年間の反戦闘争の歴史は、「戦争にまきこまれたくない」、被爆国日本を強調する運動の域を出ず、闘いもその範中のものであった。六・一五PKO法強行成立は、この日を境にして、認識の転換に明確に区別された闘いへの決起が問われたのだ。

一〇・一三小牧現地闘争を頂点とする数波の闘いの中で、大衆的反戦闘争の新たな胎動を実感した。本集会をステップとして、日帝のアジア侵略をストップする大きな渦を構築していくことを互いに確認しよう!

ブルジョワジーの政治機関・自民党が大きく崩れようとしている。宮沢政権の危機とその内部の危機を突ききり、日本労働者階級の気持ちは獲得していくために大胆に打って出なければならない。

来春天皇沖繩訪問 植樹祭参加は、反米・反戦意識への挑戦であり、沖縄の反戦運動破壊を策していることは明白だ。一方日本は世界有数のブルトニウム大国・核大国になろうとしている。これこそ核武装の道なのだ。われわれには一瞬の逡巡も許されない! 組織し運動していく絶好のチャンスの到来―新たな勢力の登場が期待されているのだ。本集会は単なる集会でなく、怒りを結集し叩きつける闘争宣言の場としてある。